

施工仕様書

外装用》ハイブリット型アクリルシリコンエマルションペイント OPTIMUS WHITE PAINT（ローラー・吹付施工版

マイクロ
キャプセル入

光触媒入

特許取得済み
第5711717号



OPTIMUS WHITE PAINT

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目1-14 3F
Tel. 06-6203-1121 Fax. 06-6203-1141
Mail. info@optimus.jp
www.optimus.jp

〈 外 装 〉 オプティマスホワイトペイント

	基材	工程	製品	ローラー		吹き付け		塗装間隔 (20℃)
				塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	
新 築	モルタル コンクリート	プライマー	C3プライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
	PCパネル	プライマー	C3プライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
	ALC	プライマー	C3プライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
	カラー鋼板	プライマー	CMSプライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	15~20	2時間以上

※注意事項 ALC下地の場合、カチオンプライマーで処理して下さい。

	基材	工程	製品	ローラー		吹付		塗装間隔 (20℃)
				塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	
改 修	リシン	プライマー	CMSプライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		中塗り	オプティマスアンダーペイント	0.6	0~5	0.6	10~20	3時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
	ボンタイル	プライマー	CMSプライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		中塗り	オプティマスアンダーペイント	0.6	0~5	0.6	10~20	3時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
	マステック	プライマー	CMSプライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間
		中塗り	オプティマスアンダーペイント	0.6	0~5	0.6	10~20	3時間
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
		上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上
モルタル コンクリート	プライマー	CMSプライマー	0.07~0.1	0~10	0.07~0.1	0~10	1時間	
	中塗り	オプティマスアンダーペイント	0.6	0~5	0.6	10~20	3時間	
	上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上	
	上塗り	オプティマスホワイトペイント	0.18~0.22	0~5	0.18~0.22	10~20	2時間以上	

推奨塗装器具 聚楽ガン(口径4) エアレスガン(口径1850) マイクロファイバーローラー(毛文 中長毛)

下地処理	素地は必ずケレン・目荒し・洗浄を行い、錆・汚れ・塵・カビ等をよく落とし、清潔な面としてから素地に合った下地処理をして施工してください。コンクリート、モルタルの養生期間は夏期3週間 冬期4週間以上、含水率10%以下、PH9.5以下にしてから塗装してください。
------	--

施工上の注意

■施工時及び塗装後は、必ず喚起を十分にしてください。■塗装する面が濡れていたり湿っていたりすると乾燥が遅れ、塗膜異常の原因となります。また、十分に乾燥していない木部及びコンクリート類には塗れません。■塗装する面のゴミ、カビ、コケ、油分などの汚れや剥離しかけの塗膜は除去し、清潔な面にしてください。■外気温や躯体温度が5℃以下の場合や湿度が85%以上の時は施工を避けてください。塗膜性能が発揮されないケースや接着不良の原因となります。

■塗膜が完全に乾燥する前に結露が発生すると、白化やシミの原因となります。風通しをよくして施工を行い、結露する季節は早めに塗り終えてください。

■塗装前には目立たない箇所を試し塗りをし、色や仕上がりを確認してください。また、改修塗装の場合は素地との接着性を予め確認してください。■各工程の標準塗布量や塗装間隔を守られていない場合、塗膜の性能を発揮できないことがあります。又、当社以外の材料を組み合わせられると、接着不良等の不具合現象並びに塗膜性能が発揮できないことがあります。■シーラー塗装後塗り重ね時間(塗装間隔)よりも短くと、上塗りのチヂミやクラック等の不具合現象が起こりますので、塗り重ね時間(塗装間隔)は厳守してください。■コンクリート・モルタルの養生期間は3週間以上とし、含水率10%以下、PH9.5以下にしてから塗装してください。(オプティマスは単層弾性塗料であり水を通さない塗膜を形成しますので、下地に水分が回ると水ぶくれを起こしやすくなります。下地が水を含みやすいもの場合、建築物の防水に特にご注意ください。)■シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、収縮割れ等の不具合を起すので避けてください。繊維質の壁や耐火被覆されている壁については、表面が脆弱であり施工はできません。■フッ素コーティングをされている場合は塗装できません。■プライマー及び主材には防錆性能がありません。素地が金属の場合、錆びている箇所はケレンし、オプティマスメタルプライマーを塗布後、オプティマスを塗装してください。■塗膜乾燥後に汚れが付いた場合は、シンナー等では拭かず中性洗剤で洗浄してください。■ローラーや刷毛等の施工器具は水性用を使用してください。《保管上の注意》■子どもの手の届かないところに保管し、誤飲・誤食しないように十分注意してください。

■塗料は蓋をし、直射日光の当たる環境や0℃以下の環境を避けて保管してください。《応急処置》■目に入った場合は直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。■皮膚に付着した場合は多量の水で洗い落とし、痛みまたは皮膚に異常がある時は必ず医師の診断を受けてください。■誤って飲み込んだときは無理に吐き出さず、すぐに医師の診断を受けてください。施工中に気分が悪くなった時は作業を中断し、空気の清浄な場所まで安静にしてください。

施 工 工 程

ローラー

1	下地処理	改修等の塗り替え時には、旧塗膜の剥離部分、フクレ部分を完全に撤去する。又、油分が付着している場合は溶剤拭きを行って下さい。クラック部分についてはクラック処理を行って下さい。
2	清 掃	下地に埃やゴミが付着していますと、接着力が確保されず塗膜の剥離やフクレなどの不具合が生じますので、清掃は必ず行って下さい。 又、壁紙等へ施工する場合は水拭きなどで下地を清潔にした後施工を行って下さい。
3	プライマー塗布	プライマーに関しましては、下地の種類毎にプライマーを用意しております。(別紙参照)プライマーの吸い込みの激しい場合は再度プライマーを塗布して下さい。
4	混合攪拌	塗装前には必ず電動攪拌機にて材料が均一になるまで攪拌してください。 骨材が浮いたりすることがあります。
5	塗装方法	塗装方法に関しましては一定方向に塗布するだけでなく、縦、横を必ず通してください(特殊骨材が片寄り仕上がりがり不良になります。)又、塗布量に関しましては標準塗布量を厳守願います。

吹付

1	下地処理	改修等の塗り替え時には、旧塗膜の剥離部分、フクレ部分を完全に撤去する。又、油分が付着している場合は溶剤拭きを行って下さい。クラック部分についてはクラック処理を行って下さい。
2	清 掃	下地に埃やゴミが付着していますと、接着力が確保されず塗膜の剥離やフクレなどの不具合が生じますので、清掃は必ず行って下さい。 又、壁紙等へ施工する場合は水拭きなどで下地を清潔にした後施工を行って下さい。
3	プライマー塗布	プライマーに関しましては、下地の種類毎にプライマーを用意しております。(別紙参照)プライマーの吸い込みの激しい場合は再度プライマーを塗布して下さい。
4	混合攪拌	塗装前には必ず電動攪拌機にて材料が均一になるまで攪拌してください。 骨材が浮いたりすることがあります。
5	下塗り	希釈率、塗布量を厳守して下さい。
6	上塗り	希釈率、塗布量を厳守して下さい。

